

卒業50周年記念同窓会

今から振り返れば、悲喜交々・いろいろな「こと」があり過ぎたといえ、私達、記念同窓会の幹事会は、2019年6月7日経済学部・同窓会・田中彰教授・常務理事と同・事務局・田村利恵さんとの打合せから始まり、2023年1月30日のメンバーへの同窓会の写真・印刷物の郵送完了まで、4年続いたこととなります。この間、在京幹事5人とはリモートで、在阪・在洛幹事7人とはどんな時も京大・同窓会室に必ず集まっていたので、時には始めから飲み会のような雰囲気の中で進み、議事は次々と合意されていきました。わずかな賢人がいたおかげでしょうか。標記 記念同窓会は、2022年10月27日（木）13時～15時30分、京大・本部時計台記念館・国際ホールにて開催され、定刻前には出席者42人はゼミ毎に6～8人の単位で、各テーブルに分かれて着席。

ご来賓の、依田高典経済学部長、諸富徹教授・同窓会常務理事、山田浩之名誉教授、池上惇名誉教授、田村利恵さん・同窓会事務局が着席されて、29人の同窓物故者への黙禱で開会となりました。次いで、依田学部長のご祝辞、諸富教授の同窓会報

告の後、山田名誉教授が乾杯のご発声されました。90才の山田先生は、一週間前に高熱で緊急入院、昨日に退院されての乾杯で、更に、この日も最後まで談笑された後、8人の本日出席の山田ゼミOBと早々に会場を跡にされて、次へ行かれたようです。気力・体力・執念には改めて驚きました。

また、司会の渡辺徹志君の軽妙な進行で、3分間スピーチもかなり進んだ頃に、89才の恩師池上惇先生が指名されますと、自らお立ちになり、前方へ進まれ、がっしりと両手でマイクを握りしめて、張りのある大きな声で「皆さんは、まだまだ若い……！もっともっと勉強するよ……！！」と檄が飛び、驚くやら、感動するやら、大いに会場は盛り上がりました。終盤に「琵琶湖周航の歌」の斉唱となり、50年の過ぎし時日を回想し且つ青春時代を呼び起こす締めとなりました。予定通り、15時30分集合写真を撮り終えて再会を誓いながら京大時計台記念館を跡にしました。

当日の出席者47人、近況報告を寄稿するも出席できなかった120人、本人またはご家族の体調不良で参加できなかった10人余り、などへ

配布するための写真の現像・焼増し550枚、近況報告集の増刷170冊、郵送のためのレターパックライト、スマートレター120枚購入など、思わぬ、時間と費用を要しましたが、2023年1月30日にすべての作業・収支を終えることができました。幹事一同深謝申し上げます。

追伸 幹事の中でも、チャーターメンバーとして、2019年10月5日の大阪市内の大阪倶楽部での在阪・在洛幹事会に初めてご出席されました後、すべての幹事会にご出席されました、岡本博公君が2021年10月18日に突然ご逝去されました。

同窓生一同、心より御礼申し上げますと共に哀悼の意を表します。
(文責 田尻和夫・八木長三郎・出田善感)

